

小学校 3・5・6 学年日本語指導学習指導案

〇〇市立〇〇小学校 指導者 〇〇 〇〇

1 学習活動の実際

(1) 活動名 買い物ゲームをしよう

(2) 対象児童の実態 (3名)

A 児：第3学年 国籍 (ブラジル) 母語 (ポルトガル語) 在籍年数 (2ヶ月)

・日本語の力

簡単な挨拶をしたり、いくつかの単語で話したりすることができる。平仮名、片仮名をほぼ習得し、第1学年の漢字の学習を始めたところである。1から100まで数えたり、2年の足し算と引き算の筆算の計算をしたりすることができる。

・在籍学級での学習参加の様子

体育や音楽、総合的な学習などの体験を通じた活動では、意欲的に取り組んでいる。

・学習環境等

家庭での学習や宿題を丁寧にやってくる。家庭では、日本語をよく理解できる人はいない。

B 児：第5学年 国籍 (中国) 母語 (中国語) 在籍年数 (8ヶ月)

・日本語の力

語彙が増え、挨拶や日常会話もだんだんできてきた。誰とでも話そうという意欲がある。ひらがなやカタカナを習得し、3年生の漢字を学習している。日記指導では、自分が体験した事に対話しながら振り返り、書くようにしている。

・在籍学級での学習参加の様子

算数や家庭科、音楽の学習への関心や意欲は高い。学習態度にむらがあり、集中できていないことが多い。

・学習環境等

宿題を忘れずにきちんとやってくる。家庭での日常会話は中国語であるが、自ら日本語を使って家族に話をするが増えている。

C 児：第6学年 国籍 (パラグアイ) 母語 (スペイン語) 在籍年数 (1年10ヶ月)

・日本語の力

日常会話はよくできる。友達とのコミュニケーションも活発である。言葉や文章を音読はできても、抽象的な語句や学習言語を理解できていない。かみ砕いて説明したり、絵や図を書いたりして説明をしている。

・在籍学級での学習参加の様子

国語と社会以外の教科は、在籍学級で学習している。課題に集中したり、粘り強く取り組んだりすることは苦手である。

・学習環境等

家庭での日常会話は、スペイン語である。家庭学習は、保護者の声かけや協力で、やってくるようになってきている。

(3) 目標

◇活動の目標

- ・ものの名前を知ることや店のちらしを書くこと、店の人と客の役に分かれてやり取りすることを通して、買い物ゲームを楽しみながら言葉について理解を深める。
- ・体験したことや思ったことを作文にし、伝え合うことができる。

- ・買い物を通して、代金やおつりの計算をすることができる。

◆日本語指導の目標

- ・「いらっしゃいませ。何にしますか。」「〇〇を〇個ください。」「いくらですか。」「〇円です。」
形容詞（大きい、長い、赤い、丸いなど）の活用や、～くて形（安くておいしい）などの文型を使って表現することができる。
- ・買い物ゲームを通して、思ったことを作文に表現することができる。

2 学習活動（全5時間：本時第3時）

○活動方法 取り出し

○準備物 品物の絵カード、文型のカード、作文用紙、お金

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点・評価
<p>1 「ドレミの歌」をみんな で歌う。</p> <p>2 客と店の人に分かれて、 売り買いの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客…「こんにちは。」 「大きいリンゴを3個く ださい。」 「いくらですか。」 ・店の人…おすすめの PR をちらしに書く。(安い、 新鮮、あまい、おいしい、 割引等の言葉を組み合わ せて) 「いらっしゃいませ。」 「全部で〇円です。」 「ありがとうございました。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉にあった振り付けをしながら、元気に歌わせる。 ・品物の絵カードで名前が理解できているか確認する。 ・個々の児童のめあてを黒板に掲示し、それにしたが って練習をさせる。 ・形容詞の表現は、具体物を活用して理解させる。 <p>【A 児】 客…挨拶、「〇〇を〇個ください。」「いくらで すか。」・形容詞の表現「大きい」「小さい」「赤い」 「長い」</p> <p>【B 児】【C 児】 店の人と客の役を交代して行わせる。 「大きい」「長い」「安い」「新しい」の形容詞や「お いしくて、安い」のような「～くて」表現でおすす め商品のちらしを書いて表現させる。値段や代金、 おつりの計算をはっきり告げることを意識して活動 できるよう助言する。</p>
<p>3 買い物ゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目（客：A 児・B 児） （店の人：C 児） ・2回目（客：A 児・C 児） （店の人 B 児） 	<ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさ、何を・幾つ、尋ね返して確認する、気 持ちのよい声かけなど、話し方や聞き方を意識して 買い物ゲームをさせる。 ・楽しく買い物ゲームができるよう日常生活の体験を 生かして話し方を工夫させる。 ・上手に売り買いができている場面をみつけ、随時取 り上げて評価する。
<p>4 買い物ゲームをした感想を 書いて、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交代前の友だちの活動のよいところを参考にするよ う助言する。 ・A 児には、書いて発表しやすいようにワークシート に書かせる。B 児・C 児は、個別指導をしながら自 分で考えて書かせる。 ・大きな声で、相手を意識して発表させる。 ・一人ひとりのがんばりやよかった点を評価する。

3 成果

- 外国人児童3名が、集って学習する機会はこの学習が初めてであった。転入間もない児童にとっては、皆と一緒に学習をすることで楽しく活動しながら日本語を覚えることができた。また、上級生2名も、下級生に優しくかわりながらリーダー性を発揮することができた。
- 「買い物ゲームをしよう」を通して、日本語の学習だけでなく、算数（お金の数え方、足し算や引き算の計算、割合など）、社会科（店の品物を守るための工夫など）、図工（品物作り）、国語（チラシ広告の表現文）など、さまざまな体験をすることができた。

4 課題

- 児童それぞれの日本語の力が異なるために、個々に応じた目標やワークシートづくり、指導方法の工夫など、集中してどの児童にも濃密な指導がやりにくく、指導の効果も上がらなかったように感じた。特に、日本に来て1年10か月の6年児童には、もっとレベルの高い目標を置いて指導していく必要がある。
- 1時間の学習指導の中で、「聞く」「話す」「読む」「書く」活動を入れた指導案を作成したが、前半の指導に間がかかり、最後の感想を「書く」活動ができないまま終わってしまった。時間配分を考えて指導していく必要がある。